

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

6月議会定例会の一般質問は、17名の議員が47項目について行いました。

◆関口 昌男 議員

- 自治体におけるジェンダー平等の取組の一步としてパートナーシップ制度導入をすすめては
- 難聴者のための補聴器助成制度の実施について
- 小学生への学習・生活支援活動の実現を

◆黒須 大一郎 議員

- 保健センター分館は防災倉庫を有する指定緊急避難所だが、今後当地域はどうなるのか
- 第6次市総合振興計画の実施計画と行財政改革推進の方針及び具体的な取組について
- 個別施設計画と改定後の公共施設等総合管理計画を問う
- 市制施行10周年の基調となる考え(キャッチフレーズ)は

◆斎藤 信治 議員

- 病児保育を進めるために
- 教育支援センターを強化するには

◆中村 匡志 議員

- 副市長の就任にあたって ○県の道路行政との連携について
- 県公安委員会との連携について
- 梨栽培農機具導入支援事業について
- いわゆる「農地法上の許可を条件とする売買」について
- 市民農園の改善について

◆松本 栄一 議員

- 中学校の体育授業における武道必修について
- 小中学校事務のデジタル化について

◆中山 廣子 議員

- 養育費不払い問題について
- HSP・HSCの理解と周知について
- 自動販売機リサイクルボックスの異物混入低減の取組について

◆石渡 征浩 議員

- 市民ニーズから考える地域公共交通について
- 地域公共交通に関する過去の答弁について
- 地域公共交通活性化再生法の改正に伴う対応について

◆大島 勉 議員

- 民生委員の課題について ○地域部活動推進事業について
- 議会議決に対する市長の考え方を問う
- ケアラー支援について ○予算と行財政改革について
- 消防団について

◆山崎 巨裕 議員

- 側溝蓋架け事業について ○中央公民館駐車場について
- 学校給食の無償化について

◆中川 幸廣 議員

- 小学校の通信簿を廃止できないか
- 白岡中央総合病院の市内新築移転のその後について

◆細井 公 議員

- 商業の活性化について ○市内の空家問題について

◆遠藤 誠 議員

- 遊休農地の再生について ○女性の地位の向上について
- 第6次白岡市総合振興計画のまちの将来像について

◆菱沼 あゆ美 議員

- 福祉的なトイレ設備等について
- 子どものアレルギー対応について
- 女性デジタル人材育成と就労について

◆渡辺 聡一郎 議員

- コロナによる地域経済への影響について
- 学校施設の老朽化対策について

◆野々口 眞由美 議員

- 学校教育について

◆石原 富子 議員

- 子宮頸がん予防ワクチンの再開について

◆加藤 一生 議員

- 白岡駅・新白岡駅の現況と市の対応について伺う

※一人につき2項目までを要約して掲載しています。



関口昌男 議員
(日本共産党)

問 パートナーシップ制度導入をすすめては

ジェンダー平等の取組の中で現在注目されているのはパートナーシップ条例の導入である。この制度導入は、全国的にも県内でも普及の状況はどのようになっているのか。これを踏まえて市でも導入を急いだらどうか。市長のリーダーシップを期待する。

答 制度の早期導入に向けて検討していく

4年4月1日現在、全国での導入自治体は209自治体である。パートナーシップ制度は、多様性を認め合う、自分らしく生きることが出来る社会の実現につながるものであるため、先進自治体の事例を参考にしながら、早期導入に向けて積極的に検討していく。

問 難聴者のための補聴器助成制度の導入を

「難聴者のための補聴器助成制度の創設を求める請願」は、市議会で採択されている。しかし、この制度は未だ実施されていない。国に報告された「補聴補正による認知症予防を目指した研究」では認知症予防の効果が報告されている。市でもこれを導入してはどうか。

答 高齢者の現状等を把握し検討していく

今年度の高齢者等実態調査により、耳の病気でお困りの高齢者の現状や補聴器助成の需要を把握するとともに、補聴器装着による認知機能低下予防効果についての国の研究結果を参考に助成を検討していく。市では、今後も、様々な認知症予防の取組を実施していく。

